

1981.
37号
上越市康木町
5丁目 7-38



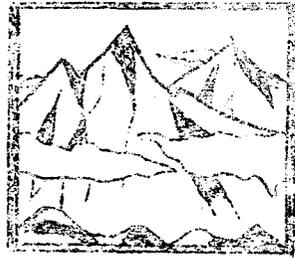
新 人 集 合

最近では新入社員として二がれも生き生きと来り
 来り上り新入社員として新入社員、新入社員として
 太陽の村に、かみ付て下り 旧人エザバウエー

市川晴男
 (住所) 上越市 市之町 11
 北心寮
 (TEL) 43-6325
 (勤務) 北越鉄工所
 (TEL) 43-1860
 A23.8.25 住 A型

宮沢静治 (28.6.14 住)
 (住所) 上越市 寺町 1丁目 14-48
 (TEL) 23-5410
 (勤務) 直江津港湾事務所
 (TEL) 43-4167 A型
 市見好 (28.11.12 住)
 (住所) 上越市 本町 6丁目
 藤信荘 A-5
 (TEL) 23-0281 U型
 銭高組

須江 明
 (住所) 頸城村 千崎 468-1
 (TEL) 025530-5552
 (勤務) 頸城村役場 庶務課
 (TEL) 025530-2311
 A33.6.2 住 A型



市村幸生
 (住所) 上越市 寺町 2丁目 22-20
 (TEL) 25-9219
 (勤務) 上越南公共職業安定所
 (TEL) 23-6121
 A30.8.1 住 A型

山田ちゃんのニぶしの思い出

去る12月めでたく結婚された西由美子さん(旧姓小田)のメッセージです

まだ鬼ヶ澤かぶりは、2頂が穂高。昨年初今年と皆奮でコース、調理を練り、岩登りの練習を繰り返して読画になる時も楽しかった。だから成し遂げた後の満足感が大きかったのも、又伊保探り切がされた。

毎日の例会も、天竺山、地獄の鬼ヶ澤、冬山直島の探り方などの勉強会も楽し、融けがし 初春に怒られた事も、しばしばあった。会員は、先輩の方々(特に師匠的)が多く、多種多様な話が飛び出るので参加した面も結構あった。

山行で鬼ヶ澤かぶりは、白馬、妙高着掃登山、黒姫 etc...
そしてその会一同に単独の米山。この米山にも思い出が
多くあり、その中の1つにニぶしの会員4~5人で米山に
登る前日に私が1人で登り、頂上のお堂の扉に手紙
をいさぐで書いたところ、他の見知らぬ人に読まれてしまった
のです!! 名前をしっかりとったのです... 了... はずかし
ニぶしの恥ですなあ。まだまだ他にも恥は続きます
一番の恥は、奥穂の頂上で大声出して怒鳴った事...

「上越ニぶし山の会 バンザイ!!」とさへんだのです
蝶ヶ岳でもやらなかった。恥以上に快意。満尼...

そしてまた来たことがあるという
この穂高でも今日は名ばかりの1人で任命され、
それに応じることもできずただおんねに感謝の気持ちです。

★ 最後の夜に 花火が山の音が一瞬を経て奥深
へ原野に 顔を合せる事ができ 本当に良かった。

翌日の山は 朝!! 最高!

★ 山行でも 自然、人、山を 懐物に 忘れたい
ません。 二つと 山行でも 離れたい 行方

二つと 山行でも 離れたい 行方。

☆☆☆

☆☆☆ とらわれた" 西由美子さんは 滋賀県へと 旅立って
いったわけです。

新住所の紹介

① 520-24

滋賀県 野州郡 中全町 比三 745-7

TEL 0775-89-5016

追伸

山からの目標

白山に登ること。
そして 来年の橋、穂高縦走
に挑むこと!!

おなさん

会費は
きちんと
納めましょ

八橋さん

すつと 別会 にも 寄が
た ちあつと
さいしつ

子ねの奮闘記

その② 外で、ネイル練習バーとトレーニング

後とは、約1ヶ月間のトレーニングを行ったのですが、何しろ言葉が通じないのも大変……!!

英語とネイル語の両方本音で、しかもそれを学びながら頑張ったのですが、なんとか意志を通じさせるようになるまで1週間以上もかかりました。

ネイルは、日本と違い、土曜日を除く日曜日も休む、お盆・お正月・お盆・お正月が海外に出かける日、帰国の日も休むので、トレーニングも週平均で4日間くらいしか出来ませんでした。

しかし終りのころには、皆が何となく進んでいて僕もある程度満足でした。ただ終了時に、警察の方から新人の通信券を7枚、その中から4人くらいメンバーをえらんでくれと要請された時は、本当に困りました。僕らの気持ちとしては、全員ついて行ってやりたかったのですが……!!

買出しとキャラバン出発

諸々の事業で買出しと荷組の作業が始まったのは本隊が到着した後でした。

僕はトレーニングの他に装束の担当だったので主にその買出しに……!!
刀・カマ、食器の類い…… 人数が多いためあって総額約40万円の大きな買物になりました。

全ての準備が整い(唯一ながたのは登山の正式許可のみ!!)キ一障がルクラに向けてカトマズ空港を飛び立ったのは3月1日でした。1日で隊員と隊荷の全てをルクラへ運ぶだけの輸送力がこの国には

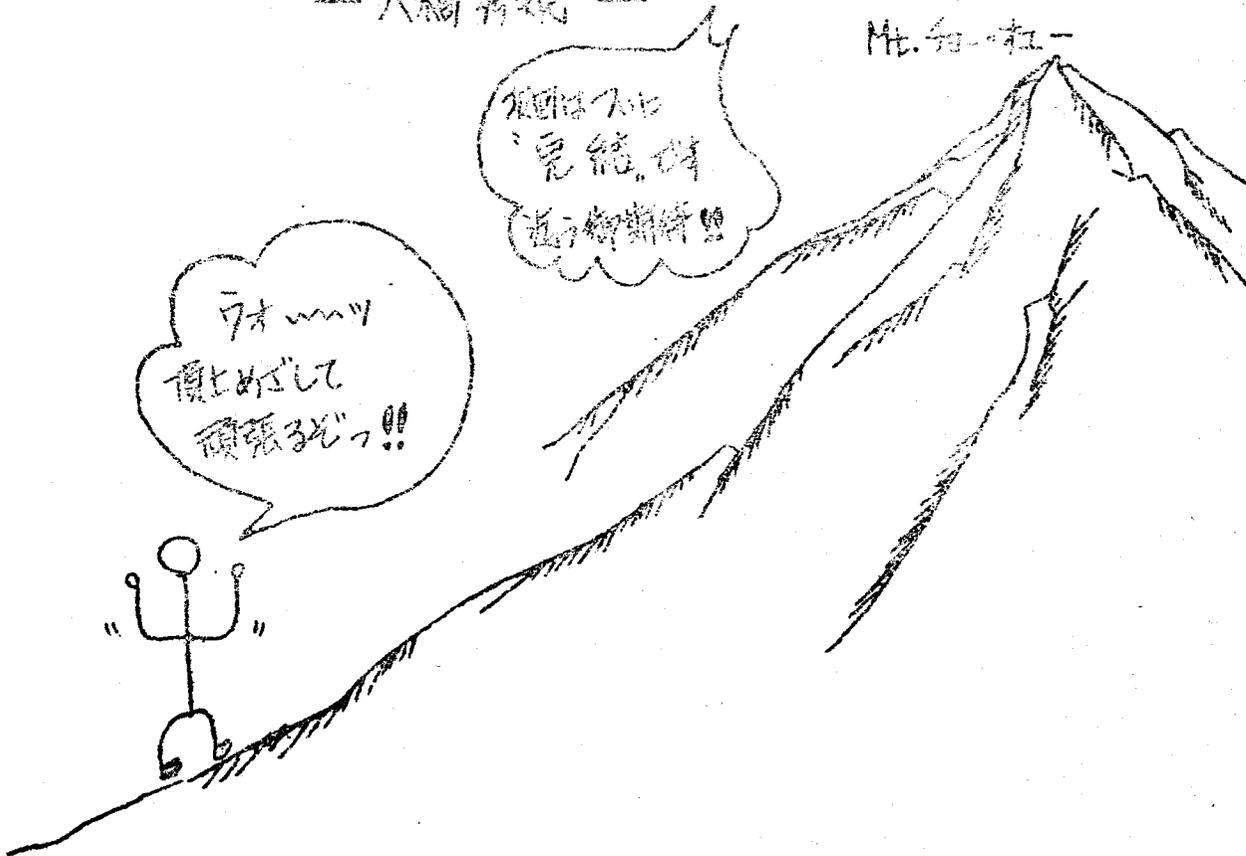
これ連絡も滞りなく、仕事がはかばかしく進んでいる中...!!
 隊員全体の皆にお世話、おかげで生まれはじめていました。

ゴキョウの B・C

隊員到着の見通しが立ち、ゴキョウをスタートしたのは、4月10日になっていました。
 シンカウ先はカレカ(放牧小屋のお母の)は行く、その補給も手配済み。
 バンキーの食糧と物づくしを頼って、のんびりとスタートしました。

2日目には後でB・Cの時、未だ意の多分経緯をきき、そして3日目には
 おやくがドローン上の点の位置でB・Cを建設するができて、
 皆の顔にもおやくの音が戻ってきました!!

— 八橋義規 —





常念岳 ~ 蝶ヶ岳

S56.8.15-17

カバ 古木・青柳良子

なんと8月31日の山行。そのために出発の前々日からその支物どきどき。当日、仕事夜勤を終え、飛ぶおりに初行列車に乗る。直江津駅で井浦さん、古木さんのお電かえを後付、井浦さんの車に乗ります。早く出発する (AM. 4:00) 車に乗ると7午時間あり。'何だ坂 こんだ坂!!' と底力を見せてくれた井浦さんの車のおりげで列車に3Xに着く (→AM. 8:25頃) 若三さん! 井浦さん! 横にござ苦勞さでした。そこで井浦さんの別れを7中常念岳を目指し出発する (→AM. 8:50)

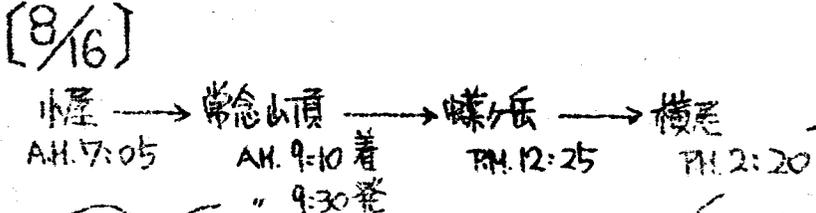
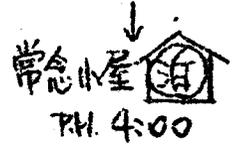
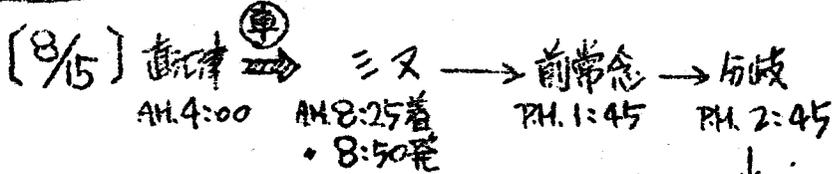
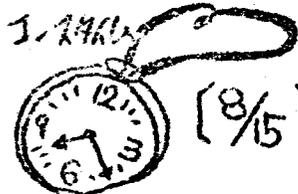
積は 1寸量り前。山中は、北風アタのお盆体殿にもおかしらず、静粛として登山者も教えるばかりで、木の葉おれの音が快まてゐていた。私達2人は木の間に続く道を1歩々々高度を上げていく。なかなか'なんざ'を登り出したコーナー。息も絶えだえで登ると疲れを感じる頃、いつのまにか稜線に出いた。しばらく行き'ふっ'と足元から視線を上げると眼前に一変して北北北とした岩山が広がっていて、急に高度を感じ、いし着足態に履てしまう。

『よーしッ (あんばるぞ) ま〜!!』と元氣な声の東向。登山道も岩山ばかりで、かたて前方は何も見えず、たどてたす

後継は、右サドは大パイプ、左サドは、ほろろなる雲海 ...
 その中を蝶ヶ岳を囲み進む。 目前には蝶ヶ岳が見えなくなる。
 さらに下へいくと 急に樹林の中に入る 突然下界にいるおぼろげな錯覚にとらわれる
 ところから下へ下へせんよう いう所で小休、おぼろげな蝶ヶ岳山頂 目指して出発
 する (→ AM. 11:45)

サドと体が重い。 完全なる My pace で 山頂を登りて
 来た。 フル フルに 山頂到着 何ホーッ やったよ!!
 ... 山頂はもう丸々とガスの中を古木さんが指す ... が、何 ... 。
 とほとほと、おきりめの鬼いど山頂目指し炭いじると、突然、お木档と突然、
 "おーい" の声 思いもかけなかったみんな (穂高1000) の声だ。
 お即座に おーい、と道場を登ってきた。 その一瞬にして疲れがふき
 とび "元気百倍" になる 何となく物にうたしなりました。
 木档に良かった、みんなも無事で、元気で ... ところ最高に HAPPY 気分だ。
 山頂で記念写真を撮り、早々に横尾の山頂目指して蝶ヶ岳を、あとにする
 横尾 PH. 2:40 到着する。

— 青柳良子 —



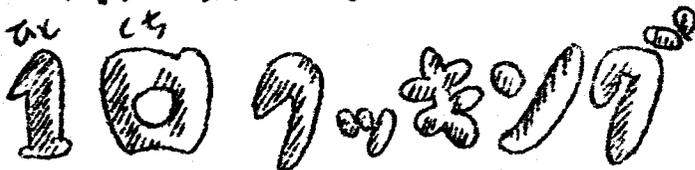
天候も上々!!
 気分も HAPPY だ
 楽しい山行だ!!

えがたねえ
 おELも今度
 行くわ!!

7x7x ヤザヤ
 大キヤリン隊で
 にぎやかに行くよ!!
 おまんたは!!



ちょっと聞いてま!!



お正月 冬ごきの料理 色々...

まがの行きたろ - 汗流して 美味しい酒と美味しい料理を食べたい
ものです

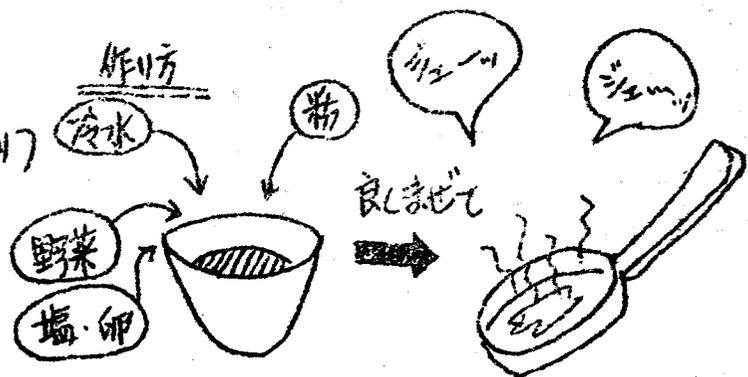
しかし!! 重たい材料はいやなもの

例えば こんなものはどうでしょう... 早く言えば

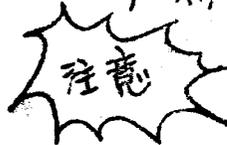
「お好み焼き」

用意するもの

- 小麦粉
- 野菜 (おじんわり)
- 卵
- 水
- 塩
- 油



野菜は そのときの献立の余りもので十分間に合うし、ゆで良いから
肉・竹の足などプラスすると またまた美味しいになりますヨ。



注意 ①②
お好み焼きは、材料を混ぜる時は、必ず冷水を使いま
しょう。(温湯を使うとネバネバしてしまいますので...)
お中

おつぎのメニューは

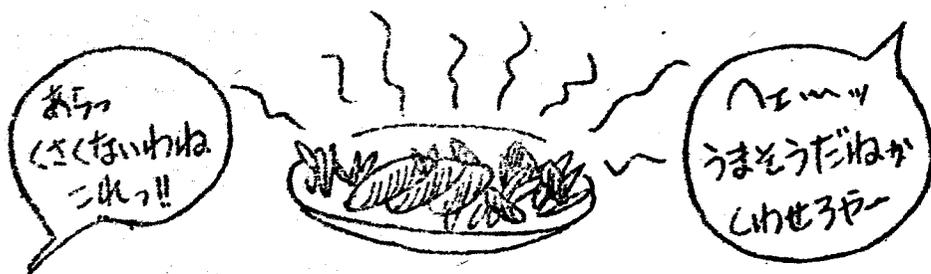
“シバニラ炒め” です。

材料は・シバニラ → 適当な厚さに切ります

- ・油
- ・野菜(別にニラに限らず何でもよい) → せん切り
- ・しょうゆ
- ・こしょう(好みにお七味とうがらし)

上記のものをフライパンでジャムッの中火で15分程炒めれば
11分 出来上がり

★シバニラは みそ または しょうが汁 につけておくと おいしい かと思います。



◎ 朝食に良く出現する餅ラーメン

これに市販のポッカレーをプラスするのはどうでしょうか?
ボリューム + ビタミン + 辛みで さわやか(?)な朝食になる
と思うけど

フッフッフ 忘れちゃならない おちけ(酒と呼ぶ)の番です
日本酒党・洋酒党 あたし絶対^討探レオン! と声は色々
ですが 昔々 焼酎のお湯わりもなかなかおつなものです
口あたりがカリッして、ぐぐぐ あたか あたかになるんです

お知らせ



12.6 ... 金谷山冬山訓練

AM. 9:00 駐車場前集合
下センの川下、下セシツク他
正月合宿参加の方は必ず出席するように！

12.13 ... 戸院山冬山訓練

尾山山行をのぼり、お祝い全員出席して
飲酒を感ずる。お祝い
正月合宿参加予定の方は必ず
出席するように。

正月合宿

ハケ岳

(CL) 柳本

(SL) 大島

★ 会としての冬山訓練の他は、各自で研鑽訓練。
下センの山行は、毎日必ず行なう。

★ 正月合宿の時の行動食は、各自で用意する様に。
かさばらず、栄養が、手軽でおいしく食べられる
もの。いろいろ研究してください。(食糧係列)

(例) ・チヂミ、お餅、おにぎり、揚げ餅、
・一日チヂミ、おにぎり、お餅、おにぎり

(注) 津波に遭った時の水分補給、おにぎり、お餅、おにぎり、おにぎり

鹿島槍から

9.13
'15

唐松岳へ

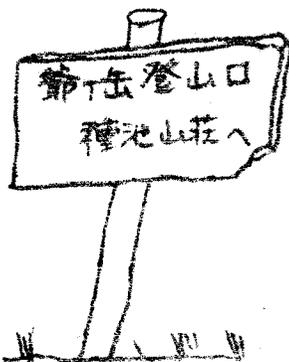
メンバー 杉本敏夫 青柳良子(長岡芳山)

姫岳方面へ行く予定だったが、変更して後立山嶽とした。
このコースは、昨年9月に行こうと思っただけだったが、雨のため中止した。今回は、そのリターンマッチ。

9.13.

高田	7:23	種池山荘	15:30
大町	10:43 - 10:45	節ヶ岳(S)	16:07 - 16:15
扇沢B.T.	11:15 - 11:25	冷池小屋	17:10 - 17:20
扇沢出合	11:30 - 11:55	T.S.	17:30

夜来の雨も止み、青空が広がっていた。列車を乗り継ぎ、信濃大町へ。そしてバスで扇沢バスターミナルへ。連休初日のため、天候が良いせいか、観光客でB.T.は混雑していた。そのため、扇沢出合の橋を渡ったところで昼食をとる。



樹林帯の中を尾根道とクランクと登り、高度をかせぐ。しかし、いつまでたっても扇沢B.T.の車の音は聞こえるし、下を思えば、車の動きもわかる。

扇ヶ岳南峰の稜線がみえるとすぐ左に曲がり、大きくトラバースしはじめる。1974年の5月連休会宿の際は、確が直登したと思う。

あれからもう7年もたつ。トラバースがいい加減いやになつた境
 道は左折し、必がて樽池山荘の三角屋根の前に出る。この頃には
 もう天候が悪くなりはじめ、本来ならば見ゆるであろう立山連峰
 は全く見えなひ。

爺ヶ岳への登りは、ゆるやかな、しかしうんざりするほど長い
 登りだ。南峰によつてくつくと、展望はきかず、わずかに東尾根
 上部が見えるだけだ。寒さもましてくる。早きに出発。主峰、北
 峰は曇り、冷地をぬかす。

冷地山荘で水とビールを購入し、ナップに入れておくと、見お
 ほひのある樹に出会う。長岡登山の田口氏だ。5人とか。

幕営地までの最後の登りに汗を流し、長岡登山のテントの近く
 に設営する。

夕食後、遊びに行く。風はいつころにやまない。

9.14.

冷地T.S.	6:23	キレット小屋	9:30 - 10:10
布引岳	7:07	立尾根T.C.V.	12:40 - 12:55
兼敷橋S	7:55	主峰岳	13:33 - 14:00
H	8:25	立尾山荘	14:40
キレット	9:07	設営終了	14:00

5時起床。寒い朝だ。撤収して出発する。長岡登山と行動を交
 にする。

歩きはじめると、すぐ白いものが千う千うし出す。みぞれだ。
 今日はもう、はじめから全く視界はきかない。布引岳をすぎ南峰
 へ向うころには、雪が吹ける。9月の山で雪とは！

南峰は楽通りし、北峰へ、いよいよはゆしくなる雪に両翼をつ
 ける。吹きつけられた雪が、もう岩角にエロノソップをつくり、
 岩かけでは、白く積っている。

北峰頂上へは登らず、キレットへ急降下。ぬれた岩はだに慎重
 に足を運ぶ。このキレットも雪がなければ、どうということはない。
 数年前の5月連休合宿のことを思い出す。

キレット小屋で仰ぐり腹ごしらえし、大キジを打つ。

キレット小屋を出て、しばらく長岡登山と一諾だ。天候、ぬか

出て先へ行く。いくつかの鏡場をこえ、大きなピークを越える。まゆむく雪は込んだが、あいかわらず風は強い。五竜岳への最後の登りと前に、再び腹こしらえする。

この登りは、しんどかった。何も思わない五竜岳頂上で長岡岳山荘へ行くが、こがれゆいで先へ下る。

急坂を下り、長いトウパス

を終ると

五竜山荘

だ。数張

クのテント

がすでに張

られていた、

風のおたら

ない所をさ

がして設営

する。張

り終った

頃、長岡

岳山荘や

ってきて

山荘をし

はらく

休み、

唐松ま

で行

くと

いっ

て



出登していった。着くのは何時頃か？

夜、風が止む。東の空に大きな中秋の明月登る。

周囲が明るく照らし出される。

ぐんぐんと気温が下がり、凍りつくような夜だった。

9.15

五竜T.S.	7:30
最高コル	8:00
唐松山荘	7:30 - 9:45
唐松岳	10:00 - 10:05
唐松山荘	10:15 - 10:30
八方池	11:30 - 12:00
リフト東場	12:40 - 13:10
白馬駅	14:00 - 14:37
高田	17:41

朝、御幸老と見に、たくさんの人がおていったようだ。

よほど寒かったのだろう。道はどこも5cm位もある霜柱で

いっはいだ。足を入ぬると、バウバウと崩れ、そして朝陽にキラキラと輝いている。美しい。

天候も、昨日とはう。乙か山って二天候。青空が広が、立山連峰が一望できる。はじめに剣岳。その山が唐松にむかうに従い、立山、そして薬師岳と槍ヶ岳を望せ、やがて黒部五郎岳から、ついには槍ヶ岳までが望えてきた。北へ行くに従って残雪が眼につく。

唐松山荘より釜の井首への急登はひとあせ流す。岩稜を越えて山荘へ出る。下ツクを歩いて唐松頂上を往復する。白鳥越からの天狗の大下りが、真直に手前へ伸びてきている。不帰岳がけぬしい。山荘では、炭業定水、雪がここの草薺をしていた。もうすぐ冬なのだろう。

下山。八方尾根は、冬の道とはだいぶちがう。丸山を巻き、気がつくとな「下の樺」だった。「上の樺」は、いつのまにか通りすぎたらしい。五竜の影から唐松山の双耳峰が、くっきりと見えていた。

八方池で又休止。もうここはハイカーの世界だ。老若男せ、ハイヒールにスカートまでがいる。それらにまじって下る。

八方山荘でリフト工事としていた。何もこんな町までおぼろげくても良いものを！ ひとりで自然破壊だ。右登り道を下る。

リフト、ケーブルを乗り過ぎ、細野へ。うららかな陽射しの中、2人で登切りのケーブル内は暖かだった。白鳥駅から列車に乗り、高田へもどった。

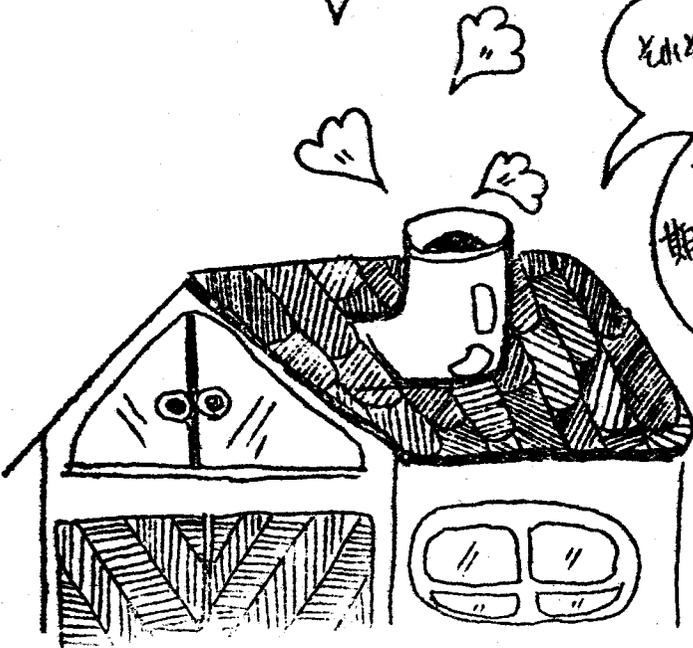
たのしい山行だった。



今回は原稿がなかなか集まらなくて
 ほんの少しも利ませぬわー...の状態で落ち
 いました...が長岡の青柳良子ちゃんの激励
 原稿も届き、なんとか完成にこぎつけました!!
 この紙面をかりて御礼の言葉を述べます
 ビビもありがとう 良子ちゃん 助かりましたヨ
 ♪こぶしのおなさん 声と大土に感謝
 依頼された原稿は...
 'トニリ笑って編集部へビビぞ'

U. IURA
 O. REIKO
 O. TAKAKO

いよいよ冬ムスブのスタート!!
 なんだか思ひ思ひの計画を立てて獲
 ちます。
 楽しいお楽しみになるお楽しみ報告を
 期待に胸を膨らませて(?)お楽しみします。
 悲しいニュースが載るお楽しみはない
 おく水じ水も注意して
 行こう、さー!!



口毛 * 予定表

S56. 12月カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	
⑥	7	8	9	10	11	12	
⑬	14	15	16	17	18	19	
⑳	21	22	23	24	25	26	
㉗	28	29	30	31			
